

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組02	多様なエネルギー環境を活かした産業創出																											
②対応する目標・課題	低炭素・省エネルギー																												
③対応する評価指標・目標値	■評価指標：地域内発電能力	■目標値：181,470kW(平成22年度)→ 240,000kW(平成28年度)																											
	■評価指標：地域内発電量のうち再生可能エネルギーの割合	■目標値：25%(平成22年度)→45%(平成28年度)																											
	■評価指標：スマートコミュニティモデル構築数	■目標値：0集落(平成22年現在)→1集落(平成28年)																											
④取組内容																													
<p>震災以前からの厳しい雇用情勢に対応するため、大規模な浸水地域の企業立地による活用を進める。立地企業には独立型エネルギーの確保を求め、余剰エネルギーの被災地域への活用や新たな事業展開を、行政と事業者が連携して推進する。</p> <p>さらに、立地企業による高齢者の雇用確保を進め、生きがいの創出と豊かな市民生活の実現を目指す。</p> <p>また、市域の約9割を占める山林を資源として活用していくため、施業の集約化及び団地化に必要な作業路の整備や木造復興住宅の普及を進め、残材をバイオマス資源として利用するなど、林業の活性化を図る。</p>																													
⑤エリア 市内全域																													
⑥主体																													
<p>○原則として民間施設は民間事業者、公共施設は市及び各設置主体とする。</p> <p>○風力発電の拡大については、(株)ユースエナジーを事業主体として計画中。</p> <p>○バイオマスコジェネのいずれも事業者が内定している。</p>																													
(単位：百万円)																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林内路網整備事業</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>林内残材購入支援事業</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>木造活用住宅推進事業</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	23	24	25	26	27	林内路網整備事業	14	0	0	0	20	林内残材購入支援事業	14	14	0	0	0	木造活用住宅推進事業			3	32	32
事業名	23	24	25	26	27																								
林内路網整備事業	14	0	0	0	20																								
林内残材購入支援事業	14	14	0	0	0																								
木造活用住宅推進事業			3	32	32																								
⑦活用した国等の制度																													
⑧地域の関与																													
<p>○企業活動や居住を支えるインフラの整備(道路や下水道などの都市基盤、情報インフラの充実)</p> <p>○規制緩和や地域の独自ルールの設定(開発許可制度や建築基準法の緩和、緑化や環境負荷低減施設の附置義務など)</p> <p>○地域独自の税制・融資等の支援措置(都市計画税や事業所税の減免、施設整備に対する助成・融資、技術開発活動における助成・融資など)</p> <p>○市民や企業の事が反映されるシステムの構築(RDCAサイクル)</p>																													
⑨スケジュール																													
23年度	瓦礫処理技術の活用に向けた適正処理試行事業 企業誘致に向けた企業立地奨励措置の検討 林業高度化の推進(木質バイオマス事業の導入に向けた立地協定企業との協議及び実証実験) 林業高度化の推進(林内路網の整備 ～H29以降)																												
24年度	瓦礫処理技術の活用(本格処理開始) 企業誘致の強化 林業高度化の推進 木造復興住宅の建設																												
25年度	林業高度化の推進(木質バイオマスコジェネの活用) 企業誘致の強化(企業立地奨励措置の拡充) 林業高度化の推進 木造復興住宅の建設																												
26年度	林業高度化の推進(木質バイオマスコジェネの活用) 企業誘致の強化(企業立地奨励措置の拡充) 林業高度化の推進 木造復興住宅の建設																												
27年度	林業高度化の推進(木質バイオマスコジェネの活用) 企業誘致の強化(企業立地奨励措置の拡充) 林業高度化の推進																												
28年度																													
29年度以降																													

⑩他の取組との連携

取組名: エネルギーの見える化

連携内容:

エネルギーマネジメントシステムの成果と見える化の効果を相乗的にするため、定期的にデータの収集、分析を行う。

取組名: 自立分散型発電の整備

連携内容:

自立分散型発電の整備とエネルギーマネジメントシステムの構築は同時並行で行い、将来的にはすべてを統合するシステムに構築する。

取組名: スマートコミュニティ推進事業

連携内容:

各種企業の立地誘導とあわせて、地域全体でのスマートコミュニティの実現の検討につなげていく。

取組名: 高齢者雇用奨励金の創出

連携内容:

再生可能エネルギー利用事業者の誘致と高齢者とを結びつける上での1つの方策として雇用奨励金を拡充し、高齢者の雇用機会の創出を支える。

取組名: 見守り体制構築モデル事業

連携内容:

スマートコミュニティモデル地区において、復興住宅等の一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の安否確認を行うなど、福祉面での取組にも活用する。

⑪自立・自律の方針・目標

○木質バイオマスの利用により、雇用が創出されている。

○コジェネ、バイオマス発電等により、小規模分散・自立エネルギーの活用が地域で行われている。

○多様なエネルギー関連産業として、新たな企業の立地や誘致が行われている。